

計画の名称	利便性が高く災害に強い良好な市街地の整備											
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	人間市											
計画の目標	土地区画整理事業を推進することで、道路、上下水道、公園など都市基盤が整備され、市民にとって利便性が高く、災害に強い、安全に安心して生活できる都市環境の良好なまちを目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,080	A	5,080	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8年度当初		R12年度末
1	土地区画整理事業地内を含む周辺人口の増加。 人間市駅北口土地区画整理事業及び扇台土地区画整理事業地を含む周辺人口を住民登録者数により調査する。 豊岡一丁目、三丁目、四丁目、扇町屋一丁目、扇台一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、河原町、黒須一丁目、鍵山一丁目、高倉一丁目の住民登録者数の合計値とする。	16344人	人	16500人
2	土地区画整理事業地内におけるアクセス道路の整備による主要施設（駅、学校等）への移動時間の短縮。 主要施設への移動時間の短縮は、総所要時間の測定により調査する。 整備区間を利用し、対象施設等を連絡するルートの総所要時間短縮率 = $\Sigma (1 - \Sigma \text{整備後の所要時間} / \Sigma \text{整備前の所要時間}) \times 100(\%)$	0%	%	12%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	入間市	直接	入間市	区画	改築	入間市駅北口地区（（都）黒須中央通り線 外）	区画整理 A=20.0ha	入間市	■	■	■	■	■	1,000	—	
	A01-002	街路	一般	入間市	直接	入間市	区画	改築	扇台地区（（都）富士見通り線 外）	区画整理 A=78.6ha	入間市	■	■	■	■	■	580	—	
												小計						1,580	
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	入間市	直接	入間市	—	—	入間市駅北口土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=20.0ha	入間市	■	■	■	■	■	1,400	1.08	
	A13-004	市街地	一般	入間市	直接	入間市	—	—	扇台土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=78.6ha	入間市	■	■	■	■	■	2,100	1.39	
												小計						3,500	
											合計						5,080		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R08				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 利便性が高く災害に強い良好な市街地の整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○